

## 令和 3 年度 自己評価結果

### 1 本園の教育目標

- 人との関わりを大切に子ども
- 豊かな感性と表現力のある子ども
- 心身共にたくましい子ども

### 2 重点的に取り組む目標

- ・ゆめと情熱をもち続け、確かな指導力をもつ教職員の育成
- ・チーム力を生かし、互いに切磋琢磨することによる指導力の向上
- ・子どもや保護者との連携による、子どもの理解の充実

### 3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
○園運営について ・コロナ感染予防対策を念頭に 3 密を避けた行事の精選と改善 ・幼稚園教育要領に基づいた確かな力の育成 ・初任者、若手教職員の指導の充実	・行事の公開に当たり、学年別・クラス別等分散して実施することによる密の回避とプログラム内容の工夫を推進 ・園内研修として全教員の公開授業研究を実施 ・園外講師による授業評価等の実施 ・週一回、指導講師による授業評価及び指導の実施
○園の施設・設備の整備 ・安全点検 ・保健室増設 ・トイレ、排水等の改修 ・預かり保育の充実	・毎月安全点検を実施し、設備、備品など危険箇所、補修の必要な箇所を確認し改善 ・園児健康管理充実に向け、保健室を増設 ・トイレ、排水関連の工事の適宜実施 ・預かり保育の人員の充実
○子ども一人一人に応じた保育の実践 ・特別支援教育研修の実施 ・保護者、教職員、関連専門機関との適切な連携 ・個に応じた指導の充実	・キンダーカウンセラーによる定期的な参観の導入と観察後の指導支援研修の実施 ・関連施設との連携を密にし、個に応じた指導の在り方を研究 ・各学年で年間計画の立案。学期・月毎にカリキュラムを再点検するとともに指導の深化充実を図る ・園内、園外研修会とへの積極的な参加

<p>○考える力をはぐくむ保育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマ</li> </ul> <p>「日常を通して豊かな感性と表現力をはぐくむことをめざして」</p> <p>園全体の子どもの共通理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究保育を通し、発達段階導に応じた指導、子どもたちの個性、可能性を伸ばす保育の研究</li> <li>・子どもが中心で主体的な保育の進め方を追求し、子どもたちに考えさせる指導展開の充実</li> <li>・季節の花、芋掘りなど自然とふれあう活動の導入</li> <li>・園行事を通じた、音楽や劇遊び等の表現力の向上</li> <li>・園外保育や作品展、日常の保育等を通じて、友だちとの関わり方を学ぶとともに、仲よく活動することの価値理解深化</li> </ul>
<p>○危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備、備品の整備</li> <li>・防災訓練</li> <li>・職員研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AED 使用方法の訓練</li> <li>・不審者対応訓練を年 2 回実施</li> <li>・対地震・火災避難訓練を月 1 回実施</li> <li>・消防署、警察署等関連機関と連携を図り、緊張感のある訓練の実施</li> </ul>
<p>○子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の充実</li> <li>・未就学児園庭開放の充実</li> <li>・専門家による子育て相談</li> <li>・預かり保育を生かした課外保育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7 時 30 分～9 時 30 分、14 時 30 分から 18 時 30 分まで預かり保育の実施</li> <li>・長期休業中も年末年始を除き、11 時間保育の実施</li> <li>・「ラビちゃん教室」を開催し、未就園児の園庭開放を実施※コロナ感染拡大予防のため、本年度は「ひよこクラブ」の実施なし</li> <li>・発達に課題のある子を対象とした相談業務の推進</li> <li>・英語教育教材「サイバードリーム」の有効活用</li> <li>・多彩な課外クラブ活動の設定</li> </ul> <p>体操・サッカー・書道・バレエ・絵画・日舞・英語等</p>
<p>○PTA 活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員相互の親睦を図ると共に子育てする保護者同士の連携の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 行事の精選実施（コロナ感染予防のため）</li> <li>・園外保育、各学年一回のみ付き添いの実施（本年度はコロナ感染予防のため実施なし）</li> </ul>

#### 4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>○施設・設備の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ、手洗い場等の水回り</li> <li>・業務の ICT 化推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの増設及び洋式化、自動手洗いの検討</li> <li>・事務作業等の効率化</li> <li>・保護者連絡システムの有効運用</li> <li>・集金業務の簡素化及び自動振り込みの推進</li> </ul>
<p>○地域との連携や地域の人材活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登美丘西・南小学校との連携・交流</li> <li>・おおみのっ子クラブの講師として地域の方を招聘</li> <li>・おすもうさんを迎えてのお楽しみ会</li> <li>・東区子育て支援ネットワーク活動の充実</li> </ul>
<p>○教職員の指導力の向上と活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員、年間 1 回の研究保育の実施継続</li> <li>・初任者研修の継続</li> <li>・園外研修への積極的参加</li> <li>・専門家を招いての園内研修の充実</li> </ul>

## 5 学校関係者の評価

### (1) 成果

- ・保健室の新設により、傷病者等の発生時に、快適な環境が提供できている。保護者のお迎えの際も、園内に入らず玄関から直接入室できるため安心感が得られた。
- ・二階預かり保育室横のトイレの全室洋式化は、混雑が改善され快適に利用できるようになった。
- ・コロナ感染拡大予防対策を適切に実施するとともに、行事開催の方法を工夫することで保護者参観の機会をできる限り確保できていた。
- ・困難な状況下においても、子どもの成長を支える行事を工夫し、保護者からの共感や信頼を得ることができていた。
- ・キンダーカウンセラー（公認心理師・学校心理士・特別支援教育士スーパーバイザーの資格保有者）による「子育て相談」の充実により、発達に課題のある園児の相談が充実することで保護者からの信頼を得た保育ができていた。
- ・子育て相談を活用した教員の専門性が向上し、課題のある園児が安心して通える園となっている。
- ・ホームページを積極的に更新することにより、普段見ることができない子どもたちの様子をタイムリーに伝え、効果的な情報提供ができていた。
- ・教職員がそれぞれの立場を尊重し合い、経験年数の違いを豊かに活用し、互いを助け合いながら熱心な指導を実践することができていた。
- ・個々の子どもの特性を適切にとらえ、園児に寄り添った指導を行うと共に、保護者に対しても丁寧かつきめ細かな対応ができていた。
- ・らくらく管理システムを導入したことにより、緊急の連絡および保護者に寄り添ったきめ細かな情報提供を適宜発進することができるようになった。

### (2) 改善点

- ・バス送迎の実施により利用しやすくなったが、路線、停車場所等保護者の期待に十分に添えていない。運行時間 40 分という制限はあるが、今後見直しを行きたい。
- ・情報の提供としての HP が有効に活用されていることは好ましいことではあるが、保護者専用ページの活用が少なくなっているように思う。セキュリティ一面を重視した取り組みを検討していきたい。
- ・PTA 活動への保護者参加が難しくなる中、行事への参加方法、役員・学級委員等の選出方法など、次年度に向け見直しを図る必要がある。
- ・コロナ感染予防対策をとるため、園庭開放の実施回数を大幅に削減することとなり、未就学園児への園紹介を十分に図ることができず、園児数減少へつながってしまった。次年度は、積極的に開催する方向で計画を進める必要がある。